

**節電にご協力
お願いします。**

東日本大震災の影響で、今夏は全国的に節電の気運が高まっています。

【家庭でできる節電方法の例】

- すだれなどで窓からの日差しを和らげましょう。
- 冷蔵庫の扉を開ける時間を減らしましょう。
- エアコンのフィルターを定期的(2週間に1回程度)に掃除しましょう。
- 待機電力節約のため、コンセントからプラグを抜きましょう。

※特に、消費電力の大きい電気製品(アイロン、電気ポット、食器洗い乾燥機、ドライヤーなどは、できるだけ平日の日中(9時~20時)を避けて使いましょう。

環境政策課 ☎089-912-2351

**愛媛県イメージアップキャラクターと
キャッチフレーズのロゴデザインが決まりました!**

【イメージアップキャラクター】

広く愛され、親しみももてる愛称を募集します!
募集期間:~9/8(木)17:00必着
応募方法:郵送(ハガキ可)、持参、FAX、メールで問い合わせ先へ
賞:1万円分の図書カード
(採用作品に多数応募の場合、抽選で2名選定し、各5千円分)
☎ 広報広聴課
☎ 089-912-2241
FAX 089-945-4211
kohokocho@pref.ehime.jp

作者:村上 英里さん(愛媛県今治市)
作品の説明:みかんと、愛媛の方言「~やけん(犬)」から、犬をモチーフにしています。

【キャッチフレーズのロゴデザイン】

愛のくに
笑顔あふれる
愛媛県

作者:盛 秀雄さん(青森県青森市)
作品の説明:「愛媛県」の下に微笑む口を配置し、愛顔(えがお)を表現しています。

大規模災害に備えよう!!

発生の可能性が高い南海地震

南海地震は、今後30年以内の発生確率が60%程度、その規模はM(マグニチュード)8を超えると推定されています。

家庭で取り組む震災対策

みなさんのご家庭でも確認してみましょう。

- 家具の転倒防止
- 窓ガラスの飛散防止
- 食料や飲料水の確保
- ラジオ等の情報収集手段の確保
- 避難所までの安全な経路や避難の仕方の確認
- 住宅の耐震診断の実施や耐震化
- 防災訓練や防災に関する学習会に参加

南海地震で心配される津波被害



南海地震のように、海底地形が広い範囲で大きく変動する大規模の地震が起こった場合、津波の発生する可能性は高くなります。

▲東日本大震災の津波で大きな被害が出た仙台市沿岸部の小学校

津波からの避難ポイント

津波から身を守るにはとにかく避難することが大切です。

- 小さな揺れでも油断は禁物
- 「遠く」よりも「高い」ところへ逃げる
- 揺れを感じたらすぐに避難を開始する
- 避難に車は使わない
- 津波は2回、3回と繰り返してやってくる

東日本大震災では...
海岸から10km以上離れた川沿いの一部地域にも津波が到達しました。

東日本大震災では...
第一波より第二波の方が大きな被害が生まれました。

- ラジオやテレビ、広報車などで正しい情報を聞く
- 地震の直後には海岸や川に近づかない

詳しい災害への備えについては、県ホームページをご覧ください。 **えひめの防災**

9月1日は「防災の日」

「愛媛県総合防災訓練」を砥部町で開催

県民のみなさんも自由に参観できます!

☎ 9月1日(木) 9:30~11:30

場 陶街道ゆとり公園(砥部町総合運動公園) 他

えひめ防災マスコットキャラクター「こまっち」

☎ 危機管理課
☎ 089-912-2335



愛媛県防災メール配信中

県内の防災情報や緊急のお知らせをメールで配信していますので、ぜひご活用ください!

- 配信情報:地震・津波情報、気象警報・注意報、土砂災害警戒情報等
- 登録方法:メール受信ができる携帯電話やパソコンで、登録ページにアクセスし、説明にしたがって登録してください。



危機管理課 越智 秀樹さん

※登録は無料ですが、通信に要する費用(パケット料)はご利用される方の負担となります。

原子力安全対策の充実強化

1 四国電力に対し、国の基準を上回る追加的安全対策を要請

四国電力の対応

- ① 基準の2倍以上の揺れに対応する耐震性の向上
- ② すべての異常を速やかに県へ報告するなどの「愛媛方式」の徹底
- ③ 原子力本部の松山市への移転
- ④ 外部変電所からの電源供給による電源対策の充実強化
- ⑤ 伊方原発から半径20km圏内全戸訪問による住民対話活動

2 平成23年6月16日、県民環境部防災局に「原子力安全対策課」を設置し、原子力関係業務を防災局に一元化

3 地域防災計画の見直しのため、平成23年7月28日に「愛媛県原子力防災対策検討協議会」を設置し、8月10日に第1回の協議会を開催

☎ 原子力安全対策課
☎ 089-912-2340



東日本大震災関係

県・市町・その他団体の支援状況

東日本大震災後、被災地支援本部を設置し、様々な支援を行っています。8月12日現在の主な支援実績は次のとおりです。

人的支援

延べ派遣人数:1,719名
(うち県職員918名、市町職員372名)

ボランティア支援

登録者数:305名、派遣者数:133名

救援物資の提供

13tトラック25台・4tトラック1台

公営住宅等の提供

42戸、137名(現入居者32戸、104名)



▲知事の被災地訪問の様子(宮城県石巻市)

えひめ愛顔の助け合い基金

☎ 保健福祉課 ☎ 089-912-2386

東日本大震災で被災され、県内に避難された方に対する生活支援や現地の被災者等の支援経費の財源に充てるため、「えひめ愛顔(えがお)の助け合い基金」を設置しています。

【基金を活用した主な支援事業】

- 災害ボランティア派遣事業
被災地の復旧支援を行うため、バスを借り上げ災害ボランティアを派遣します。
- 被災地学校修学旅行支援事業
被災地の高等学校等が、本県で宿泊を伴う修学旅行を実施する場合にその経費を助成します。
- 愛媛みかんジュース提供事業
宮城県内の復興イベント開催時等に「蛇口からボンジュース」を提供します。

本基金への寄附をお願いします!

振込口座	伊予銀行	愛媛県庁支店	普通	1680900
	愛媛銀行	県庁支店	普通	5186132
	愛媛県信連	愛媛県庁支店	普通	0001027

口座名はすべて「えひめ愛顔の助け合い基金」(エヒメエガオノタスクエアキキョウ)
【この寄附金は、寄附金控除の対象となります】

寄附状況(8月17日現在)

皆様からのあたたかいご協力・ご支援ありがとうございます。	企業・団体	144,373,891円(241件)
	個人	3,595,688円(114件)

広告

広告